

FT Vest Gold Strategy Target Income ETF®
FT Vest ゴールド戦略 ターゲットインカム ETF

交付運用報告書

2023年12月31日に終了する計算期間

免責事項

この交付運用報告書は、2023年12月31日付 Annual Report の記載事項の翻訳に基づいており、日本における投資家の参照用に作成されたものです。投資家は、この交付運用報告書及び上記 Annual Report との間に齟齬が生じた場合、上記 Annual Report が優先されることにご留意下さい。

- (注) 1. 本書に記載の「ドル」又は「\$」という用語は、別段の記載がある場合を除き米ドルを指します。また、本書に記載の金額のうち通貨単位の記載がないものは、別段の記載がある場合を除きその通貨単位は米ドルです。
2. 本書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しています。

2024年10月24日

金融庁長官 殿

発行者

受益証券発行者名	ファースト・トラスト・エクスチェンジ・トレーデッド・ ファンド (First Trust Exchange-Traded Fund)
----------	--

代表者の役職氏名	プレジデント兼チーフ・エグゼクティブ・オフィサー ジェームズ・エム・ディカス (James M. Dykas, President and Chief Executive Officer)
----------	--

本店の所在地	アメリカ合衆国、イリノイ州、ウィートン、イースト・リ バティー・ドライブ 120 番地 400 号室 (120 East Liberty Drive, Suite 400, Wheaton IL 60187, United State of America)
--------	--

代理人の氏名又は名称	弁護士 樋 口 航
------------	-----------

代理人の住所又は所在地	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
-------------	---

事務連絡者氏名	弁護士 樋 口 航
---------	-----------

事務連絡場所	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
--------	---

電話番号	(03)6775-1142
------	---------------

外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載

した書面

(交付運用報告書)

投資信託及び投資法人に関する法律第59条において準用する同法第14条第4項及び第6項の規定により外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面（交付運用報告書）を提出します。この報告書の記載事項は、事実と相違ありません。

本書の記載事項の説明**1. 運用方針**

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」を参照。

2. 計算期間中における資産の運用の経過

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

3. 運用状況の推移

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

4. 計算期間の末日における純資産及び基準価額の状況

「貸借対照表」、「損益計算書」、「純資産変動計算書」及び「財務ハイライト」等を参照。

5. 信託報酬その他の手数料等

「ファンドの費用（未監査）」及び「損益計算書」等を参照。

6. 投資の対象とする有価証券等の主な銘柄

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」等を参照。

将来予想に関する記述についての注意事項

本報告書には、1933年証券法（その後の改正を含みます。）及び1934年証券取引所法（その後の改正を含みます。）の意味における一定の将来予想に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、ファーストトラスト・アドバイザー L.P.（以下「ファーストトラスト」又は「アドバイザー」といいます。）及び/又は Vest Financial LLC（以下「Vest」又は「サブアドバイザー」といいます。）並びにそれらの各代表者の目標、信念、計画、又は現在彼らに利用可能な情報を考慮した現在の期待に関する声明が含まれます。将来予想に関する記述には、現在又は歴史的事実にのみ関連しないすべての記述が含まれます。例えば、将来予想に関する記述には、「予期する」、「見積もる」、「意図する」、「期待する」、「信じる」、「計画する」、「かもしれない」、「するはずである」、「するだろう」など、将来の出来事や結果の不確実性を伝える言葉の使用が含まれません。

将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスク、不確実性、その他の要因が含まれ、これらの要因が、本報告書で述べられているファーストトラスト・エクステンジ・トレーデッド・ファンド（以下「本トラスト」といいます。）のシリーズ（FT Vest ゴールド戦略 ターゲットインカム ETF。以下「本ファンド」といいます。）の実際の結果、業績、又は成果が、将来予想に関する記述によって表明又は暗示される結果、業績、又は成果と大幅に異なる可能性があることを意味します。この報告書に含まれる情報を評価するには、これらの将来予想に関する記述に過度に依存しないよう注意してください。これらはアドバイザー及び/又はサブアドバイザー並びにそれらの各代表者の判断を、ここに記載された日付の時点でのみ反映しています。私たちは、ここに記載された日付以降に生じる出来事や状況を反映して、これらの将来予想に関する記述を公に改訂又は更新する義務を負いません。

パフォーマンス及びリスク開示

本ファンドがその投資目的を達成するという保証はありません。本ファンドは市場リスクに曝されています。これは、本ファンドが所有する証券の市場価値が減少し、その結果、本ファンドのシェアの価値があなたの支払った価格よりも低くなる可能性があることを意味します。したがって、本ファンドへの投資により損失を被ることがあります。

引用されているパフォーマンスデータは過去の実績を表しており、これは将来の結果の保証ではありません。現在のパフォーマンスは、示されている数値よりも低いか高いかもしれません。最新の月末パフォーマンスデータについては、www.ftportfolios.com をご覧になるか、又は財務アドバイザーにお聞きください。投資収益、純資産価値、及びシェア価格は変動し、本ファンドのシェアは売却時に、その元のコストよりも価値が高い可能性もありますが、低い可能性もあります。

アドバイザーは、本ファンドのウェブページ（www.ftportfolios.com）で、定期的に本ファンドのパフォーマンスに関する追加情報を提供することがあります。

本報告書の読み方

本報告書には、本ファンドへの投資を評価するのに役立つ情報が含まれています。本ファンドに関する詳細な情報が含まれており、本ファンドのパフォーマンスや投資アプローチに関するインサイトを提供するデータや分析が提示されています。

本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームによるポートフォリオの解説を読めば、市場環境が本ファンドのパフォーマンスにどのように影響したかを理解できるでしょう。続く統計情報は、本ファンドのパフォーマンスが関連する市場ベンチマークと比較してどのようなものであったかを理解するのに役立つかもしれません。

アドバイザー及び/又はサブアドバイザーの人員によって表明された意見は、あくまで情報に基づいた彼らの意見であることを念頭に置くことが重要です。これらの意見を約束や助言と考えるべきではありません。意見は、統計と同様に、本報告書の表紙の日付までの期間をカバーしています。本ファンドへの投資に伴う主要なリスクは、目論見書、追加情報のステートメント、及びその他の本ファンドの規制関連の提出書類に明記されています。

ファンドのパフォーマンス概要（未監査）

FT Vest ゴールド戦略 ターゲットインカム ETF（以下「本ファンド」といいます。）は、SPDR®ゴールド・トラスト（以下「原ETF」といいます。）の価格リターンへの参加を実現するとともに、安定した水準の収益を提供することを目指します。本ファンドの投資対象には、主として短期米国財務省証券、現金及び現金同等物、並びに原ETFの値動きを参照する FLEXible EXchange®オプション（以下「FLEX オプション」といいます。）を保有する完全子会社（以下「子会社」といいます。）の株式があります。本ファンドは、目的の達成を目指すにあたり通常は子会社を通じて FLEX オプションを購入し又は売却します。FLEX オプションは取引所で取引されるカスタマイズされた株式オプション契約又は指数オプション契約ですが、投資家は、行使価格、スタイルや満期日等の主要な契約条件をカスタマイズすることが可能です。買建コール・オプションと売建プット・オプションの組み合わせは、一般に上昇と下落の両面で原ETFの価格リターンに対するエクスポージャーを提供します。本ファンドの投資サブアドバイザーは Vest Financial LLC です。また、収益を生み出す方法として、本ファンドは、本ファンドが購入するコール・オプションの想定元本の一部のみについて、本ファンドの設立時又はその後の戦略の各展開時における原ETFの価格とほぼ同一の権利行使価格を有するコール・オプション（こうしたオプションは「アット・ザ・マネー」と呼ばれます。）の売却を目指す「部分カバード・コール戦略」を採用します。この戦略を実行するために、本ファンドは、満期日が今後約1ヵ月以内（以下「ターゲット・インカム期間」といいます。）のコール・オプションを売却します。本ファンドが売却するコール・オプションの数量は、コール・オプションの売却に伴うプレミアムからなる本ファンドの平均的な資産について、本ファンドがターゲット・インカム期間中に1ヵ月物米国財務省証券の年利回りよりも年間約3.85%（本ファンドの手数料及び費用控除前）高い収益を生み出すよう設計された計算に基づきます。本ファンドは、1940年投資会社法（その後の改正を含みます。）上は「非分散型」に分類されます。本ファンドのシェアは、「IGLD」というティッカーシンボルで Cboe BZX Exchange, Inc.に上場しています。

パフォーマンス

	平均年間トータルリターン		累積トータルリターン
	2023年12月31日に終了した1年間	設立（2021年3月2日）から2023年12月31日までの期間	設立（2021年3月2日）から2023年12月31日までの期間
本ファンドのパフォーマンス			
NAV	10.95%	3.66%	10.72%
市場価格	9.13%	3.48%	10.18%
インデックスのパフォーマンス			
LBMA Gold Price	14.59%	6.83%	20.57%
S&P 500®Index – 価格リターン	24.23%	7.66%	23.24%

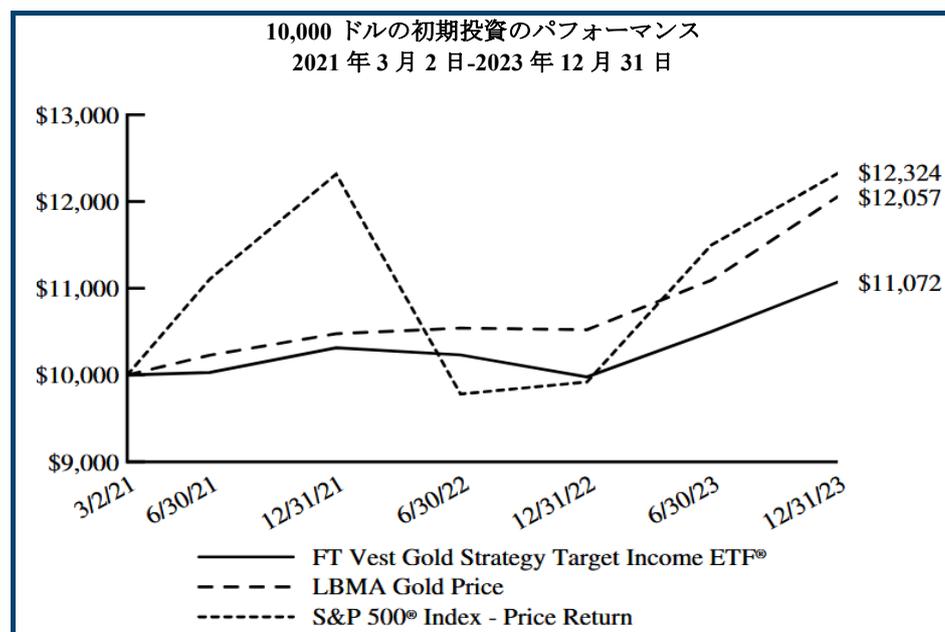
設立以来の期間におけるトータルリターンは、本ファンドの設立日から計算されます。「平均年間トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の平均年間変化率を表します。「累積トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の総変化率を表します。

本ファンドのシェア1口当たり純資産価額（以下「NAV」といいます。）は、本ファンドのシェア1口の価値であり、本ファンドのすべての資産（未収利息や配当を含みます。）の価値から、すべての負債（未払費用や宣言されているが未払いの配当を含みます。）を差し引いて、発行済みシェア総数で割って算出されます。市場リターンを計算するために使用される価格（以下「市場価格」といいます。）は、本ファンドのNAVが計算される時点での全米で最良のビッド価格とオファー価格の仲値（以下「NBBO」といいます。）を用いて決定されます。証券取引委員会の規則によると、NBBOは、本ファンドのNAVが計算される時点で本ファンドを取引している各取引所の中で最も高い買い価格と最も低い売り価格から構成されます。本ファンドのシェアが本ファンド設立後まで流通市場で取引されなかったため、設立から本ファンドのシェアが流通市場で取引される最初の日までの期間においては、本ファンドのNAVを流通市場の取引価格に代わるものとして使用し、市場リターンを計算します。NAV及び市場リターンには、すべての分配金がNAVと市場価格で本ファンドに再投資されたと仮定しています。

インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。また、市場リターンには、流通市場取引に関して支払義務が生じる可能性のある仲介手数料は含まれていません。仲介手数料が含まれる場合、市場リターンは低くなります。表示されているトータルリターンは、インデックス内の証券における配当の再投資を反映しています。表示されているリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。本ファンドのシェアの投資リターンと元本価値は、市場状況の変化に伴って変動します。本ファンドのシェアは、償還される際や市場で売却される際に、元のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

資金配分	純資産に占める割合
米国トレジャリー・ビル	139.0%
マネー・マーケット・ファンド	2.5
買建オプション	0.8
売建オプション	(42.3)
その他の資産及び負債純額	(0.0)*
合計	100.0%

* 金額は0.1%未満です。



パフォーマンスの数値は、すべての分配金の再投資を前提としており、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを予想するものではありません。

ディスカウントとプレミアムの頻度分布

本ファンドのシェアの市場価格が本ファンドの純資産価額より高い（プレミアム）又は低い（ディスカウント）日数を示す情報は、直近の年度及びそれ以降の直近の暦四半期（又は本ファンドの存続期間が短い場合はその期間）について、<https://www.ftportfolios.com/Retail/etf/home.aspx> で入手できます。

ポートフォリオの解説（未監査）

アドバイザー

ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」又は「アドバイザー」といいます。）が FT Vest ゴールド戦略 ターゲットインカム ETF（以下「IGLD」又は「本ファンド」といいます。）の投資アドバイザーです。ファーストトラストは、本ファンドの投資ポートフォリオを継続的に監視し、本ファンドの業務を管理し、本ファンドの運用に必要な一定の事務管理業務を提供する責任を負います。

サブアドバイザー

Vest Financial LLC（以下「Vest」又は「サブアドバイザー」といいます。）が本ファンドの投資サブアドバイザーを務めています。かかる地位の下、Vest は、本ファンドの投資ポートフォリオに含まれる有価証券の選定及び継続的監視について責任を負います。バージニア州 22102、マクレーン、スイート 240、ブロード・ストリート 8350 に主たる事務所を置く Vest は 2012 年に設立されました。2023 年 12 月 31 日現在、Vest は約 217 億ドルを運用し、又は運用にコミットしていました。

ポートフォリオ・マネジメント・チーム

以下の者が本ファンドのポートフォリオ・マネジャーを務めています。

カラン・スードーVest のマネージング・ディレクター
 ハワード・ルービンVest のマネージング・ディレクター

ポートフォリオ・マネジャーは、本ファンドの日々の運用に第一義的に、かつ共同で責任を負います。各ポートフォリオ・マネジャーは、2021 年より本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームの一員となっています。

市場動向

2023 年 12 月 31 日に終了した本ファンドの事業年度（以下「当期」といいます。）は、インフレが落ち着き、米連邦準備制度理事会（以下「FRB」といいます。）が今後の金利政策の緩和を示唆したため米国株式相場が急伸しました。

米国の大型株の指標として広く知られている S&P500®Index は 26.3%上昇して当期を終えました。S&P MidCap 400®Index 及び Russell 2000®Index により測定される中・小型株は、当期にそれぞれ 16.4%及び 16.9%上昇しました。ハイテク株が多い市場の指標である Nasdaq 100-Index®は当期に 55.1%上昇しました。米国以外の株式市場も概ねプラスのリターンとなり、MSCI EAFE Index（米国を除く先進国市場の広範な株式指標）が 18.2%伸びた一方、MSCI Emerging Markets Index は当期は 9.8%の伸びとなりました。

SPDR®Gold Shares ETF（以下「GLD」又は「原 ETF」といいます。）の価格リターンにより測定される金は、当期は 12.7%上昇しました。

米国の経済データは景気の底堅さをうかがわせました。直近 3 四半期（2023 年第 1 四半期から 2023 年第 3 四半期）に報告された米国の国内総生産（以下「GDP」といいます。）成長率は、季節調整済み年率で順に 2.2%、2.1%及び 4.9%となりました。ブルームバーグがエコノミストを対象に行った最新の調査によると、2024 年の（対 2023 年比）GDP 成長率のコンセンサス予想は 1.3%となっています。

米国の失業率はほぼ 50 年ぶりの記録的な低さが続いており、2022 年 1 月以降 4%を下回っています。当期は失業率が若干上昇傾向を示しました。2022 年 12 月は 3.5%でしたが、2023 年 12 月までに 3.7%に上昇しました。

目標を上回るインフレ率を抑えるために、FRB は 2023 年にフェデラルファンド誘導目標金利を引き上げ、目標レンジを（4.25%～4.50%のレンジから 5.25%～5.50%のレンジへと）1.0%引き上げました。これらの利上げは 2022 年の積極的な引き上げよりもはるかに穏やかであり、2023 年の 1.0%の利上げは 4 回連続で 0.25%引き上げる形で行われました。

2022 年に劇的に上昇した米国のインフレ水準は、2023 年には一転して低下しました。年が明け、（消費者物価指数（CPI-前年比）で測定される）インフレ率は 6.5%で推移していました。インフレ率は着実に下落し、2023 年第 1 四半期末に 5.0%、2023 年第 2 四半期末に 3.0%まで低下した後、3.1%で一年を終えました。米国の住宅市場は FRB による利上げにもかかわらず底堅く、直近 9 ヶ月（2023 年 2 月から 10 月）の物価報告書はいずれも（S&P Case-Shiller U.S. National Home Price Index により測定されるように）住宅価格の上昇を示しています。

パフォーマンスの分析

原則として、本ファンドは GLD のロング・ポジションと経済的に等価である有価証券を保有します。また、本ファンドは、GLD に係るアット・ザ・マネーの 1 ヶ月物カバード・コール・オプションを原則として毎月一定量売却します。

カバード・コール・ポジションのサイズは、GLD のロング・ポジションに占める割合として表すことができます。この割合を IGLD オーバーライト比率といいます。この割合は、オプションの売却により受け取るプレミアムの目標額が 1 ヶ月物財務省証券利回りを約 3.85% 上回る値 (12 で除したもの) になるよう毎月末に決定されます。したがって、各月の IGLD オーバーライト比率はオプション売却時におけるオプションの市場価格に影響されます。オプションの価格が高ければ高いほど、プレミアムの目標額を獲得するために売却する必要のあるオプションは少なくなります。ショート・コールが月末時点でイン・ザ・マネーの状態にある場合、本ファンドは、イン・ザ・マネーであるコールの数量により悪影響を受けます。

GLD のロング・ポジションとオプションの部分的なオーバーライトの純効果により、本ファンドは、100% から IGLD オーバーライト比率を差し引いた割合で GLD の上昇分に参加することができます。例えば、IGLD オーバーライト比率が 20% の場合、本ファンドは、原則として、当期の GLD 上昇分の 80% に参加します。次表は、当期における本ファンドのカバード・コール・オーバーライト比率及び毎月の各リセット期間におけるパフォーマンスに関する情報です。本ファンドのオーバーライト比率は毎月末にリセットされます。表は、毎月の各開始日に有効となったオーバーライト比率を示しています。

毎月の各リセット期間における本ファンドのパフォーマンスは、一般に多くの要因から影響を受けます。これらの要因には、GLD のパフォーマンス、GLD のインプライド・ボラティリティ、オーバーライト比率や費用があります。

月単位の期間		費用	GLD (市場) の	IGLD (NAV) の	IGLD
開始	終了		パフォーマンス	パフォーマンス	オーバーライト比率
2022 年 12 月 30 日	2023 年 1 月 31 日	0.07%	5.76%	6.16%	32.56%
2023 年 1 月 31 日	2023 年 2 月 28 日	0.07%	-5.37%	-4.30%	38.80%
2023 年 2 月 28 日	2023 年 3 月 31 日	0.07%	7.92%	4.78%	41.37%
2023 年 3 月 31 日	2023 年 4 月 28 日	0.07%	0.86%	1.46%	34.70%
2023 年 4 月 28 日	2023 年 5 月 31 日	0.07%	-1.34%	-1.18%	36.49%
2023 年 5 月 31 日	2023 年 6 月 30 日	0.07%	-2.22%	-1.46%	41.25%
2023 年 6 月 30 日	2023 年 7 月 31 日	0.07%	2.29%	1.73%	53.24%
2023 年 7 月 31 日	2023 年 8 月 31 日	0.07%	-1.28%	-0.59%	52.03%
2023 年 8 月 31 日	2023 年 9 月 29 日	0.07%	-4.76%	-4.11%	54.66%
2023 年 9 月 29 日	2023 年 10 月 31 日	0.07%	7.37%	4.11%	54.47%
2023 年 10 月 31 日	2023 年 11 月 30 日	0.07%	2.53%	2.11%	41.69%
2023 年 11 月 30 日	2023 年 12 月 29 日	0.07%	1.28%	2.30%	46.44%

マーケット及びファンドの見通し

2023 年の米国株式市場のインプライド・ボラティリティは、Cboe S&P 500 1-Year Volatility Index によると平均約 22.6% でした。このインデックスはオプション価格から導き出され、今後 12 ヶ月間の S&P500®Index のボラティリティに関する市場予想を見積もります。2023 年末時点の Cboe S&P 500 1-Year Volatility Index は 20.1% でした。なお、S&P500®Index の 1927 年の創設以来のヒストリカル・ボラティリティは約 18.7% です。

米国のインフレが完全にはコントロールされておらず、再び上昇する可能性があるかと懸念する投資家もいます。こうした状況が生じると、ほとんどの債券に悪影響が及ぶと見込まれることから、多くの投資家が債券投資以外への再配分を検討する可能性があります。また、米国政府が急増する国家債務について高い借入金利の支払いに目下直面していることや、こうしたことが相まって経済全体へのリスクとなり、景気後退や株価下落につながり得ることを投資家が懸念する可能性があります。

本ファンドは投資家が検討すべき選択肢であると我々は考えています。本ファンドは、SPDR®ゴールド・トラストの価格リターンへの参加を実現するとともに、安定した水準の収益を提供することを目指します。本ファンドは、本ファンドの投資戦略に基づき売却されるカバード・コールから受け取るプレミアムと一致する配当を毎月公表し、シェア保有者に支払うことを目指した配分方針を実施しています。この方針は本ファンドの投資戦略に影響しませんが、本ファンドの純資産価額を減少させる可能性があります。なお、この方針はいつでも変更されることがあり、本ファンドはいつでも完全に分配を停止することがあります。毎月十分な運用収益が得られない場合、本ファンドの分配は、配分方針に基づき、分配率を維持するために元本の払い戻しで構成される可能性があります。2023 年 12 月 31 日に終了した当期は、本ファンドの分配の 77% が通常の収益、また 23% が元本の払い戻しという特徴がありました。2023 年のすべての分配の原資及び課税関係に関する最終的な判断は 2023 年末以降に行われ、フォーム 1099-DIV に記載されます。上記を税務アドバイスと解釈しないでください。税務に関する詳細については税務アドバイザーにご相談ください。

将来のインフレ率をめぐる不確実性や景気後退リスクを伴う現在の市場環境では、本ファンドは、適切に配分すれば株式投資や債券投資に代わる適切な選択肢となり得ます。

ファンドの費用（未監査）

本ファンドのシェア保有者は、2種類のコストを負担します。すなわち、(1) 取引コスト、及び(2) 継続的な費用です。これには運用手数料、販売手数料及び/又はサービス（12b-1）手数料（該当する場合）、及びその他のファンド費用が含まれます。この例は、本ファンドへの投資に伴う継続的な費用を理解し、これらの費用を他のファンドへの投資の継続的な費用と比較するのに役立つことを目的としています。

この例は、期間の初めに投資され、2023年12月31日に終了した6カ月の期間を通じて保有された1,000ドルの投資に基づいています。

実際の費用

以下の表の最初の行は、実際の口座の価値と実際の費用に関する情報を提供します。この行の情報とあなたが投資した金額を併せて使用することで、その期間に支払った費用を推定することができます。単にあなたの口座の価値を1,000ドルで割ります（例えば、8,600ドルの口座価値を1,000ドルで割ると8.6になります）。その結果に、「6カ月間に支払われた費用」という見出しの最初の行の数字を掛けることで、この6カ月間にあなたの口座で支払った費用を推定できます。

比較目的の仮想例

以下の表の2行目は、本ファンドの実際の費用比率及び費用控除前の仮定された年間リターン5%を基にした仮想の口座価値と仮想費用に関する情報を提供します。これは本ファンドの実際のリターンではありません。この仮想の口座価値と費用は、期間の実際の最終口座残高や支払った費用を推定するために使用することはできません。この情報を使用して、本ファンドや他のファンドへの投資にかかる継続的なコストを比較することができます。これを行うには、この5%の仮想例を他のファンドのシェア保有者報告書に記載されている5%の仮想例と比較してください。

表に示されている費用は、継続的なコストのみを強調するためのものであり、仲介手数料などの取引コストは反映されていないことにご注意ください。したがって、表の2行目は継続的なコストの比較にのみ役立ち、異なるファンドを所有する際の相対的な総コストを判断するのには役立ちません。さらに、これらの取引コストが含まれていた場合、あなたのコストはより高くなっていたでしょう。

	2023年7月 1日時点の口 座開始価値	2023年12月31 日時点の口座終 了価値	6カ月間に 基づく年間 費用比率	6カ月間に 支払われた 費用 (a)
FT Vest ゴールド戦略 ターゲットインカム ETF(IGLD)				
実際	\$1,000.00	\$ 1,054.60	0.85%	\$4.40
仮定（費用控除前のリターンが5%）	\$1,000.00	\$ 1,020.92	0.85%	\$4.33
(a) 費用は、表に示された年間費用比率に期間中の平均口座価値（2023年7月1日から2023年12月31日まで）を掛けたものであり、さらに184/365（6カ月間を反映するため）を掛けたものに等しいです。				

連結貸借対照表

2023年12月31日

資 産:

投資（評価額）	\$120,028,379
買建オプション契約（評価額）	652,918
現金	37
ブローカーからの未収金	1,878
受取勘定:	
売却されたシェア	964,103
売却された投資有価証券	904,335
配当	9,685
資産合計	<u>122,561,335</u>

負 債:

売建オプション契約（評価額）	35,845,404
支払勘定:	
購入された投資有価証券	1,833,867
投資顧問料	59,144
負債合計	<u>37,738,415</u>

純資産	<u>\$84,822,920</u>
-----------	---------------------

純資産の内訳:

払込資本	\$83,159,566
額面価額	44,000
分配可能利益（損失）累計額	1,619,354
純資産	<u>\$84,822,920</u>
シェア1口当たり純資産価額	<u>\$19.28</u>
発行済シェア数（授権数の制限なし/シェア1口当たりの額面価額0.01ドル）	4,400,002
投資（取得額）	<u>\$119,646,481</u>
買建オプション契約について支払われたプレミアム	<u>\$475,129</u>
売建オプション契約について受領されたプレミアム	<u>\$36,586,961</u>

連結損益計算書

2023年12月31日に終了した年度について

投資利益:

利息.....	\$4,046,789
配当.....	67,582
投資利益合計.....	<u>4,114,371</u>

費用:

投資顧問料.....	553,229
費用合計.....	<u>553,229</u>
正味投資利益（損失）.....	<u>3,561,142</u>

実現及び未実現の正味利益（損失）:

正味実現利益（損失）の内訳:

投資.....	(3,961)
買建オプション契約.....	(621,692)
売建オプション契約.....	1,406,850
正味実現利益（損失）.....	<u>781,197</u>

未実現増価（減価）の正味変動額の内訳:

投資.....	368,297
買建オプション契約.....	176,038
売建オプション契約.....	658,457
未実現増価（減価）の正味変動額.....	<u>1,202,792</u>

実現及び未実現の正味利益（損失）.....	<u>1,983,989</u>
運用による純資産の正味増加（減少）額.....	<u>\$5,545,131</u>

連結純資産変動計算書

	2023年12月31日に 終了した年度	2022年12月31日に 終了した年度
運用:		
正味投資利益（損失）	\$3,561,142	\$270,325
正味実現利益（損失）	781,197	(1,431,362)
未実現増価（減価）の正味変動額	1,202,792	(720,292)
運用による純資産の正味増加（減少）額	<u>5,545,131</u>	<u>(1,881,239)</u>
シェア保有者への分配の原資:		
投資運用	(3,928,684)	—
資本の払戻し	(1,160,039)	(1,725,727)
シェア保有者への分配合計	<u>(5,088,723)</u>	<u>(1,725,727)</u>
シェア保有者取引:		
シェア売却手取金	50,580,985	21,210,170
交換済シェア費用	(4,784,237)	(10,509,533)
シェア保有者取引による純資産の正味増加（減少）額	<u>45,796,748</u>	<u>10,700,637</u>
純資産の増加（減少）額合計	46,253,156	7,093,581
純資産:		
期首	38,569,764	31,476,183
期末	<u>\$84,822,920</u>	<u>\$38,569,764</u>
発行済シェア数の変動:		
期首における発行済シェア数	2,050,002	1,550,002
売却されたシェア数	2,600,000	1,050,000
交換されたシェア数	(250,000)	(550,000)
期末における発行済シェア数	<u>4,400,002</u>	<u>2,050,002</u>

連結財務ハイライト

各計算期間中の発行済シェア 1 口について

	12 月 31 日に終了した年度		2021 年 12 月 31 日に 終了した期間 ^(a)
	2023	2022	
期首における純資産価額	\$18.81	\$20.31	\$20.14
投資運用による利益:			
正味投資利益 (損失)	1.04 ^(b)	0.14	(0.08)
実現及び未実現の正味利益 (損失)	0.94	(0.79)	0.71
投資運用による合計額	1.98	(0.65)	0.63
シェア保有者への分配の原資:			
正味投資利益	(1.17)	—	—
資本の払戻し	(0.34)	(0.85)	(0.46)
分配合計	(1.51)	(0.85)	(0.46)
期末における純資産価額	\$19.28	\$18.81	\$20.31
トータルリターン ^(c)	10.95%	(3.26)%	3.14%
平均純資産に対する比率/補足データ:			
期末における純資産 (千単位)	\$84,823	\$38,570	\$31,476
平均純資産に対する費用合計の比率	0.85%	0.85%	0.85% ^(d)
平均純資産に対する正味投資利益 (損失) の比率...	5.47%	0.69%	(0.76)% ^(d)
ポートフォリオ・ターンオーバー比率 ^(e)	0%	0%	0%

- (a) 運用開始日は 2021 年 3 月 2 日であり、これは投資業務の開始日と一致し、また最初のクレーション・ユニットが設定された日でもあります。
- (b) 平均発行済シェアを基準としています。
- (c) トータルリターンは、当初投資が期首の純資産価額で行われ、すべての分配が期中の純資産価額で再投資され、当該期間の最終日に純資産価額で交換 (redemption) がなされる、という前提で計算されています。表示されたリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの交換 (redemption) 又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。トータルリターンは表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。
- (d) 年換算されています。
- (e) ポートフォリオ・ターンオーバー比率は、表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。また、設定 (creation) や交換 (redemption) の処理及び現物取引により受領又は交付された有価証券を含みません。